

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あいうえおん みらい		公表日 2025年3月7日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・ 児童発達支援の午前・午後の部と5人制に分けて少人数で行っているためスペースは十分余裕がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・ 法令で必要とされる職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・ 室内はバリアフリーとなっている。 ・ 壁面やボードを用い情報伝達を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・ 毎日、掃除、消毒を徹底している。 ・ 年齢に合わせた机、椅子を使用したりしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・ 必要に応じて静養室を利用し個別の環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・ 毎日行っている職員会議では支援の内容や子どもの姿などについて話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ 今回の評価を真摯に受け止め、事業の改善に繋げていきたいと考えている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ 保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・ 相談支援員の訪問を受け入れ、率直な意見を伺いながら業務の改善につなげている。	・ 色んな視点から評価を頂けるよう専門家の意見を取り入れていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・ 内部研修としてマニュアル等についての研修を行ったり、オンラインによる研修、外部施設への見学等を行い資質の向上を目指している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ 適切に支援プログラムを作成し、HP等公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・ 見学や体験時に行う保護者面談でニーズを把握したり、行動観察を記録し個別支援計画書に反映させている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・ 施設全体でアセスメント会議を行い、こどもの最善の利益を考慮した会議を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・ 個別支援計画作成後、改めて内容を共有し、設定目標や支援内容を確認している。 ・ 毎日の職員会議では支援の仕方や活動の進め方等共通の目標を持ち支援できるよう話合っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・ 自社作成のアセスメントツールを使用し基本的事項、要望、得意なこと、苦手なこと等の把握に努めている。また、必要に応じて利用者が医療機関等で行った検査結果をお持ちいただき発達状況を把握している。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・個別プログラム、集団プログラムなど個人のペースや社会生活に必要な支援の計画を反映している。家族の相談支援を必要に応じて設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・課題や興味、日々の流れを汲みながら職員全員がプログラムの立案に参画している。 ・テーマに基づき、個別で立案したものを職員で共有し、改善している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・毎回異なった教材を使用し、プログラムが固定化されることのないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・基本的には集団活動を行っているが、一人ひとりの発達や課題に応じて、個別の課題や、社会性の課題、集団適応に至るまでの課題等を計画書に入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・活動前後でのミーティングやプログラム立案会議時に職員間にて支援内容や役割分担について把握できるように努めている。また、活動終了後、その日の気づきや振り返りを記録として残し、職員間での共有、次のステップアップや改善につなげている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・HUGシステムから、日々の記録を写真付きで保護者様に公開している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		概ね6か月に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・開催される際には管理者、児童発達支援管理責任者等の適任者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・必要に応じて相談支援員や保健福祉センターの保健師と連携し支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・保護者の要望に応じて情報共有や相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・保護者の要望に応じて対応している。 ・小学校や支援学校との直接的に連携はないが、相談支援員を通して連携している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)					
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4	・児童発達支援センターの方が講義される研修に出席し、内容を職員で共有している。	・一部のスタッフだけが助言等を受けているので全員が助言等を受ける機会を検討したい。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・当事業所の保護者サークルの活動に参加 ・児童館や図書館での交流 ・地元中学校の14歳の挑戦の受け入れ	・スタッフ全員の理解を深めていく。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・通所時等にご家庭、保育園での様子を聞いたり、事業所での様子を伝えたりすることで共通理解を図っている。 ・HUGシステムから日々の事業所での記録を確認いただき、コメントいただいたり、LINEより個別の相談をお聞きしたりしている。 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の会話の中で利用者の素敵な部分を伝えたり、現状の困り感に対するご家庭で取り組める内容を伝えたりしている。 ・今後、定期的なペアレントトレーニングを計画している。 	・事業所にペアレントトレーナーを配属し、機会を設けることを検討している。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明を行っている。 ・不明点については随時職員が説明するようにしている。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。 ・児童発達支援ガイドラインに基づいた児童発達支援計画を作成し、保護者に確認と同意、捺印をいただいている。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・通所時やHUGシステム連絡事項、LINEでの相談は随時受け付けており、保護者からの話を受け止めながら必要に応じた支援を行えるように心がけている。 	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での保護者参観を開催した。今後、保護者同士も集える場となるように考えている。 	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談や申し入れがあった場合、責任者へ報告し、内容に応じ適任者が対応している。 電話や面談、LINE等でも受付しており、迅速な対応に努めている。 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて連絡事項等の情報をお便りや公式LINEで発信している。 ・活動の内容についてはHP、Instagram、HUGシステムにて公開している。 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットで保管している。 ・個人情報使用同意書、肖像権使用同意書等を作成している。 	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・その日の活動内容を絵表示などを使用しホワイトボードに記載している。言葉や文字、絵や写真などを使用し視覚的補助ができるようにしている。 	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地元中学校の14歳の挑戦の受け入れを行っている。 	・スタッフ全員の理解を深めていく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを保護者が観覧できるように玄関フロアに設置してある。 ・次年度にむけてBCP業務計画の研修・訓練を実施する予定。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の避難訓練、その他必要な訓練や研修を行っている。 ・定期的な防災グッズの点検を行っている。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、保護者に必要に応じて確認を行っている。 	・スタッフ全員の理解を深めていく

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・事業所からの食物の提供はないがアセスメントではアレルギーの有無の確認をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			・家族等の周知度が低いため、今後HPへ掲載する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・危険な事例があった場合は、報告書に記載し、ミーティングにて職員で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止マニュアルを作成しミーティング等で職員へ共有。 ・今後は外研修にも参加したいと考えている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束は行っていない。	